



第206号(令和3年7月)

今号の写真:尾瀬沼のニッコウキスゲ

《目次》

- 今号のトピックス
伊南の郷きのご工房がFGAP認証を取得しました
令和3年度「たんぼの学校」がスタートしました
会津田島アスパラを食べよう！キャンペーンを開催しました
新規就農に向けたトマト育苗研修を開催しました
- 農林事務所からのお知らせ
熱中症対策をしましょう
エコ農産物マークシールを提供しています
あいづ“まるごと”ネット会員を募集しています
Instagram【公式】福島県南会津農林事務所を開設しました
- コラム
キラリと光る南会津の6次化商品～一十八日マスクプレー除菌～
職員のつばやき～南会津のうりん雑感～

令和3年7月1日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

伊南の郷きのご工房がFGAP認証を取得しました

伊南の郷きのご工房（南会津町）がきのこ2品目（しいたけ、きくらげ）でふくしま県GAP（FGAP）認証を取得し、5月20日（木）に当事務所の太友所長から認証書が手渡されました。南会津地域において、きのこでFGAP認証を取得するのは今回が初めての事例です。

伊南の郷きのご工房の岡本代表は、「作業環境の改善を図ったり、書類を整理して情報共有しやすくしたことで、活動しやすい環境が整備され、各社員の意識向上に繋がった」とFGAPの実践効果を話されていました。（森林林業部）



岡本代表(左)と太友所長(右)

令和3年度「田んぼの学校」がスタートしました

「ふくしまの農育推進事業・田んぼの学校」が今年も5月31日（月）に南会津町立伊南小学校で開校しました。

同小学校では、以前から地元の皆さんの協力のもと授業で米作りを取り入れてきましたが、3年前から当事業を組み入れたことで、より一層の人的支援と内容の充実が図られました。

当日は、例年実施してきた開校式がコロナ対策により行えませんでした。対象学年の5年生全員が近くの学習田で、最近は見かけなくなった手植えでの田植え作業を行いました。好天の中、全員靴下のみで泥に足を踏み入ると、最初は恐る恐るでしたがすぐに慣れた様子で、地元指導員の馬場一久さんにコツを教わりながら、約10アールの田んぼを予定時間までにほぼ植え終えることができました。

今後は、初夏に稲の生育確認と草取り、そしてアクアマリン水族館から講師を招いて田んぼの生き物調査を実施し、秋の稲刈りの後には収穫祭が予定されています。事業を通じて、児童たちが「食と命の大切さ」や「郷土への理解」を深めるきっかけとなることが期待されます。（農村整備部）



田植えを行う伊南小学校の5年生

「会津田島アスパラを食べよう！」キャンペーンを開催しました

4月10日(土)から5月17日(月)まで、南会津町田島地区の飲食店等と連携した「会津田島アスパラを食べよう！」キャンペーンを開催しました。

会津田島アスパラは、南会津地域の昼夜の温度差がもたらす甘さ、柔らかな食感、4色のカラフルな色が特徴で、平成29年7月には地域団体商標を取得するなど、福島県を代表するブランド野菜です。キャンペーンでは地元飲食店6店舗で会津田島アスパラを使用した特別メニューが提供されたほか、5月8日(土)にはまちの駅南会津ふるさと物産館でもキッチンカーによるアスパラ料理が販売され、多くの来場者が舌鼓を打ちました。キャンペーン終了後には対象料理を注文された方を対象に南会津地域の地酒や米など特産品が当たる抽選会を行いました。

ご協力を頂きましたJ A会津よつばみなみ東部営農経済センター及び飲食店等の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。
(企画部)



抽選会の様子
近藤菅農経済センター長(中央)
大友農林事務所長(右)

新規就農に向けたトマト育苗研修を開催しました

5月20日(木)に南会津町南郷地区において、就農を目指して今シーズンより南郷トマト生産組合での研修をスタートした4名(Uターン3名、Iターン1名)を対象に育苗研修を開催しました。研修は栽培管理の勘所となる育苗期、収穫前、摘心時期の年3回を予定しています。今回は、研修先の生産者2名に指導を仰ぎ、育苗管理で一番大事な水管理について学びました。研修生は自らのほ場での苗管理を想定しながら研修に臨み、積極的に質問する様子もみられ、今後の栽培技術の研鑽が期待されます。

(農業振興普及部)



育苗研修の様子

農林事務所からのお知らせ

農作業時の熱中症対策を行いましょ

暑さが厳しくなるこれからの時期は熱中症に注意が必要です。農作業中の熱中症による死亡事故は、日中の最高気温が30℃を超える日が多い7～8月に多い傾向があります。また、夜間時の作業においても死亡事故が発生しているため、時間帯に関わらず熱中症に注意して作業を実施しましょう。

農作業は、極力暑い時間帯を避けて行い、こまめな水分補給と休憩を心掛けましょう。熱中症の予防として1時間に1回、10分程度の休憩を取り、のどが渇いていなくてもコップ1杯以上の水分補給を行うことが効果的です。また、帽子や吸汗速乾性素材の作業衣等を着用し、休憩は日陰等の涼しい場所で行いましょう。十分な安全対策を実施のうえ、農作業を行いましょ。

(農業振興普及部)



出典：環境省「熱中症予防カード」

エコ農産物マークを活用しましょう

福島県では、「環境と共生する農業」を推進し、土づくりと化学農薬・化学肥料の使用を低減した農業を実践している生産者への支援に力を入れています。福島県知事の認定を受けた「エコファーマー」は「エコ農産物マーク」を使用することができます。このマークは販売作物に貼付し「持続性の高い農業」によって栽培された農作物であることを消費者にアピールするためのもので、「エコファーマー」であれば、どなたでもご利用いただけます。使用を希望される方は下記より申請書をダウンロードいただき必要事項をご記入のうえ、農林事務所まで提出してください。

○お問い合わせ先：南会津農林事務所農業振興普及部

電話番号：0241-62-5264（担当：東）

エコ農産物マーク電子データ申請書はこちらから（常時受付）

○「福島県環境と共生する農業」推進マークについて（環境保全農業課）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/kankyounougyou-343.html>

（農業振興普及部）



エコ農産物マークシール

あいづ“まるごと”ネット会員を募集しています

福島県では、豊かな地域資源を生かし、地域力（人材、資源、伝統）を発揮しながら、1次・2次・3次産業が様々な形で連携・融合した新たな地域産業を創出することで地域の活性化を目指す「地域産業6次化」を推進しています。会津・南会津地域においても、農林漁業者や商工業者等で構成されるネットワーク「あいづ“まるごと”ネット」を組織し、各種情報発信や交流会の開催等の活動を行っています。特に、毎月発行している会員向けメールマガジンでは各種助成制度や商談会・物産展の案内等、皆様に役立つ情報を提供しておりますので、是非会員登録をお願いします。地域産業の6次化に関心と意欲のある方であればどなたでも会員になれます。登録料・年会費は無料です。

○お問い合わせ先：あいづ“まるごと”ネット事務局

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/marugotonet.html>

電子メール：aizu-marugotonet@pref.fukushima.lg.jp

電話番号：0241-62-5252（南会津農林事務所企画部）

（企画部）



令和2年度第2回交流会の様子

Instagram【公式】福島県南会津農林事務所を開設しました

当事務所では、南会津地域の農林業や農山村の魅力をリアルタイムに広く情報発信するため、令和3年2月よりInstagramに【公式】福島県南会津農林事務所を開設しました。事務所職員が普段の業務の一コマや南会津で見つけた特色ある写真を投稿しております。また、写真の紹介文（キャプション）も充実させてまいりますので、是非フォローをお願いします。

ご自身のInstagramより以下のアカウント名又は右のQRコードから検索いただくと便利です。

○【公式】福島県南会津農林事務所

アカウント名：minamiaizu_nourin

（企画部）



MINAMIAIZU_NOURIN

QRコード

キラリと光る南会津の6次化商品～一十八日マスクスプレー除菌～

今回ご紹介するのは、株式会社一十八日（じゅうはちにち）のマスクスプレーです。

昨今の新型コロナウイルスの影響で、マスクは人々の生活にとって必需品となりました。そこで活躍するのが南会津産の薄荷（はっか）の精油などを使用したマスクスプレーです。マスクの外側に2，3回スプレーするだけで吹き抜けるような爽快感を味わえる上に除菌効果もあり、まさに一石二鳥！衛生的にマスクを使用いただけます。長時間マスクを着用しなければならない息苦しい世の中ではありますが、このマスクスプレーで気分をリフレッシュしてみてはいかがでしょうか？

同社の南会津ショールーム又はオンラインショップでご購入いただけます！

○株式会社一十八日

ホームページ <https://18th.co.jp>

オンラインショップ <https://18th.minamiaizu.shop>

（企画部）



一十八日のマスクスプレー

職員のつづやき～癒やされる南会津の名所～

コロナ禍で遠出の旅行もできない状況下、5月に近くにある観音沼を訪れてみました。

観音沼は南会津郡下郷町の観音沼森林公園にある沼です。静かなたたずまいの沼で、木々が湖畔ギリギリまで迫っていたり、いくつかの浮島があつて神秘的な雰囲気醸し出しています。沼の周りには約1.2kmの散策路が整備されていて、ゆっくり歩いていると水芭蕉と桜が咲いていました。遅い花見と野鳥のさえずりを聞きながらのんびり散策しました。

自然鑑賞後は、香り豊かな南会津産の蕎麦を食べました。南会津は昼夜の気温の差が大きく蕎麦の栽培に最適で、一年中おいしい蕎麦をいただくことができます。

身近なところで日常生活の疲れを癒やすことができました。秋の紅葉の時期に再訪しようと考えています。



夕焼けに照らされる観音沼

（企画部 鈴木洋児）

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。